

奈良市 協働のQ&A vol.20

協働というのは「手段」であって、協働することが「目的」ではありません。では、その「目的」とは、いったいどのようなものなのでしょうか。行政と協働の相手の「目的」やそれを達成するための「目標」について、2問続けてお届けします。



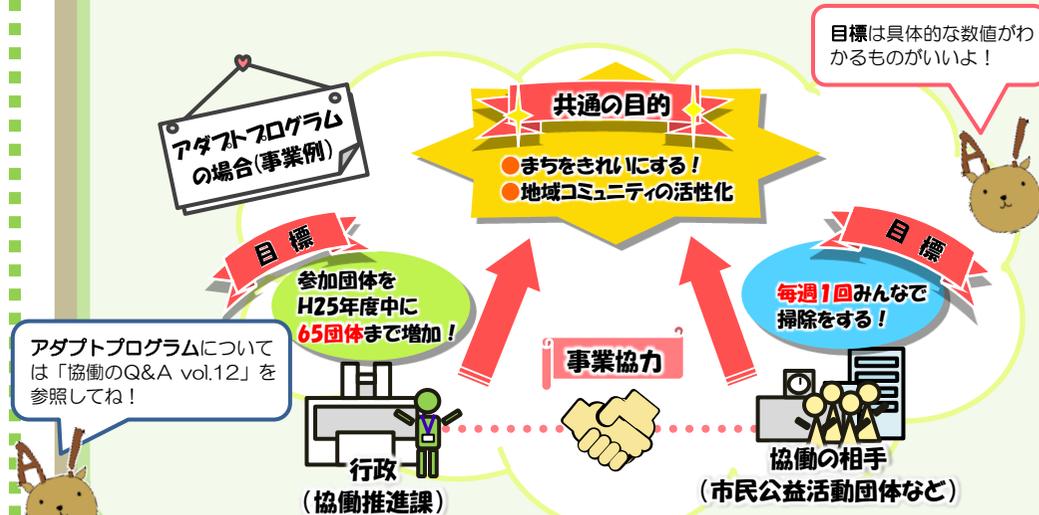
**Q29** 協働の目的設定、目標の共有化はどうすればいいの？

**Q30** 共有できない目的・方向性はどう改善すればいいの？

A29

まず協働で事業を行う前提として、共通の公共課題の解決が目的であるということがあるよ！それを踏まえて、その事業を協働で行うことでできることや、なぜ協働の相手としてお互いを必要としているのかに基づいて、目的を設定し、共有しよう。

目的がしっかりと共有化できたら、それに至るまでの具体的な目標を設定するんだ。市と協働の相手は、それぞれが持っている情報やノウハウが異なるから、そのことを理解したうえで、地域のニーズや課題について十分な話し合いを重ねて、明確な目標設定を行おう！

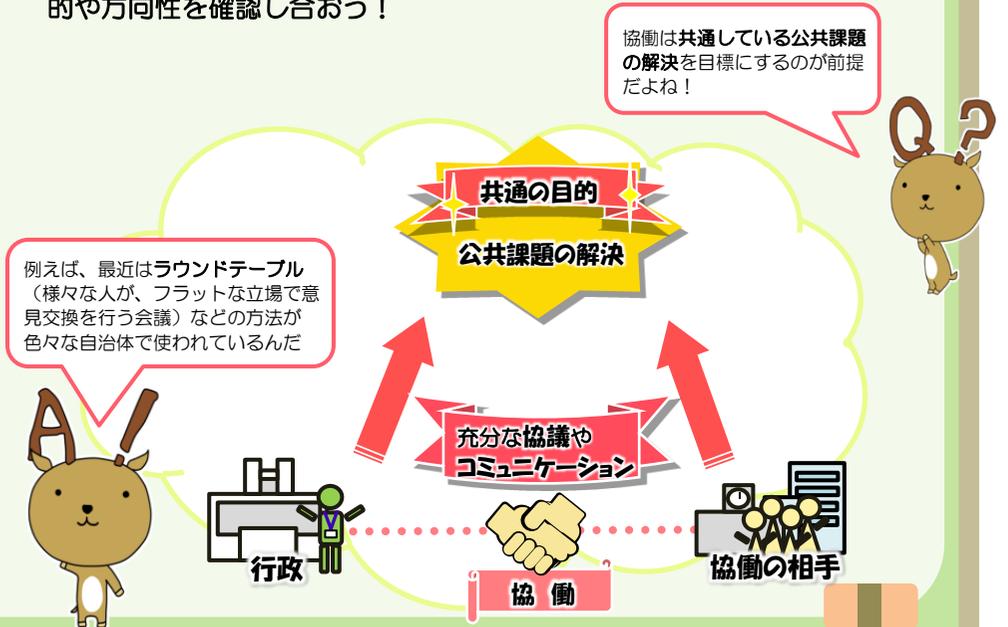


アダプトプログラムについては「協働のQ&A vol.12」を参照してね！

A30

協働は共通の公共課題の解決を目的としているから、あらかじめ協働の相手と市とが連携して協議する機会を設けるなど、目的や方向性の確認をしておこうね。その結果、目的や方向性が異なっている相手とは、無理に協働する必要はないよ。

また、事業の途中で目的や方向性がずれていくことがないように、当事者間の相互理解・信頼関係を構築しておく必要があるよ。事業開始後も、何度も顔を合わせて話すなど、コミュニケーションを取り、常に目的や方向性を確認し合おう！



例えば、最近はラウンドテーブル（様々な人が、フラットな立場で意見交換を行う会議）などの方法が色々な自治体で使われているんだ

NEXT!

**Q31** 協働事業での決定、契約、請負及び責任の範囲と項目はどのようにすればいいの？

…協働で事業をするためにいろいろ話し合ったけど、どうまとめればいいのかなあ…。

力を合わせて一緒に事業を行っていくには、「目的」ってすごく大事なんだね！もう一度よく考えてみようっと。

